活動交流集会４

# １．テーマ

災害に備える民生委員・児童委員活動

～住民参加による災害時要援護者支援活動の推進

# ２．集会のねらい

①　災害に備え、住民自身による自助とともに、住民互助の体制を強化するために、地域ぐるみで取り組むことの重要性を理解する。

②　全民児連が策定した「民生委員・児童委員による災害時要援護者支援活動に関する指針」の要点を踏まえ、災害対策における民生委員・児童委員の役割を理解するとともに、平常時から行政や自主防災組織等の関係機関と連携した活動に取り組むことの重要性を理解する。

# ３．会場及び日時　　ホテルグランテラス富山4階「瑞雲」

　　　　　　　　　　平成27年10月16日（金）9：30～12：30

# ４．事例発表者及びコーディネーター

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 県名 | 事例発表者 | 事例テーマ及び内容 |
| 宮城県気仙沼市 | 渡邊　耕良　氏（気仙沼市民生委員児童委員協議会　会長） | ・東日本大震災の発生後の4年半の住民課題の変化と民生委員・児童委員、また民児協としての対応について・復興公営住宅への移住がすすむなか、コミュニティを維持していくことの難しさ（自治会がないため民生委員が推薦されない等）、世帯情報を把握し、コミュニケーションをとり続けていくことの難しさ、など、民生委員・児童委員としての苦労・風化の防止に向けて感じていること |
| 鹿児島県屋久島町 | 鎌田富士雄　氏（屋久島町民生委員児童委員協議会　会長） | ・平成26年8月の噴火を受けて、次の噴火や他の災害に向けてどのような準備をしてきたか（避難計画や地域のつながりや行政等の関係機関との連携など）・平成27年5月29日の口永良部島の噴火における避難に際し、民生委員・児童委員の動き、避難生活で継続している現在の状況および民生委員・児童委員として苦労していること、民児協としての対応 |
| 富山県 | 佐原　春光　氏（入喜町民生委員児童委員協議会　民生委員児童委員） | ・平成20年2月の高波災害発生時の地域の状況と民児協、社協を中心とした復旧活動・その経験を踏まえた、地域のつながりや行政等関係機関との連携など、地域における災害に備えた取り組みについて・避難行動要支援者名簿の作成等、行政との役割分担に関して |

コーディネーター：市川一宏氏（ルーテル学院大学学事顧問・教授）